

## 84-404/504 低圧液体 背圧バルブ 取扱説明書

**重 要**

この装置を使用する前に、安全対策と取扱説明書をよく読んでお使いください。  
また、本取扱説明書はしっかりと保管してください。



### 仕 様

	84-404	84-504
型式	84-404	84-504
最大使用圧力	1.0 MPa	
調整圧力範囲	0.07~0.96 MPa	
最大流量	41.6 ℓ /min.	
入口/出口 接続ネジ	3/4 ㍉ NPT(f)	1-1/4 ㍉ NPT(f)
圧力計 取付ネジ	1/4 ㍉ NPT(f)	
主要接液部材質	ステンレススチール、PTFE（フッ素樹脂）	

## 安全上の注意事項

本説明書における警告、注意、注意事項は、次のような意味を表します。

⚠ 警告	⚠ 注意	注意事項 (注記)
重傷、死亡事故または重大な器物破壊を招く危険な行為または安全でない行為を示します。	軽傷、製品または器物破壊を招く危険な行為または安全でない行為を示します。	設置、操作または保守に関する重要な情報を示します。

### ⚠ 警告

本機を使用する前に以下の注意事項を必ずお読みください。



#### 取扱説明書をよく読むこと

塗装機器を操作する前に、取扱説明書に記載されている安全、操作および保守に関する全ての情報を読み理解してください。



#### 操作員の訓練

塗装機器の全ての作業者は、操作する前に訓練を受ける必要があります。



#### 装置誤使用による危険

装置の使い方を誤ると、装置の破損、誤作動または予期せぬ作動が発生し、重傷につながる危険性があります。



#### 保守中は全ての電源、接続を切断、減圧、ロックすること

保守する前に全ての電源、接続を切断してロックしないと、重傷や死亡事故を招くことがあります。



#### 高圧力対策

高圧力は重傷を招く原因となります。保守する前には、全ての圧力を開放してください。スプレーガンの吹付き、ホースからの液漏れ、破損した部品によって人体に塗料が噴出されると、重傷を招くことがあります。



#### 圧力開放手順

装置の取扱説明書に記載された圧力開放手順を必ず守ってください。



#### 装置保護具の適切な場所への設置

安全装置が正しく設置されていない場合は、装置を操作しないでください。



#### 自動機器

自動機器は、警報なく突然作動することがあります。



#### 日常点検

消耗や故障箇所が無いが毎日点検してください。機器の安全状況がはっきりしない時は、作動させてはいけません。



#### 機器を改造しないこと

機器メーカーの書面確認なしに、機器を改造してはいけません。



#### 緊急時に備え、あらかじめ機器の停止方法、遮断箇所を把握すること。



#### 静電気対策

塗料は帯電するため、作業領域にある装置類や被塗物、その他導電性の物は適切に接地して下さい。不適切な接地や火花は危険で、火災、爆発、感電その他の重傷につながります。



#### 安全メガネ着用

サイドシールド付きの安全メガネを着用しないと、眼の負傷または失明を招くことがあります。



#### 安全配慮すること (塗料に触れないための注意事項)

- ガンやバルブをけって人に向けない。
- 手や指をスプレー先端に置かない。
- 塗料漏れを手や体、手袋、ウェス等でけって押さえない。
- スプレーする前は常に先端ガードを装着する。
- スプレーする前は常にガントリガーの安全を確認する。
- スプレーしない時は常にガントリガーを安全にロックする。



#### 医療上の注意

高圧液によるけがは重傷になります。疑いがある場合は、すぐに緊急処置室に行くこと。

- 注入の疑いがあることを医者に伝える。
- 機器に付属される医療注意カードやこの医療情報を医師にみせること。
- 塗料の種類を医師に伝えること。
- 塗料の安全データシートを参照すること。



#### 防毒マスクを使用すること

有毒蒸気を吸込むと重症や死に至る危険があります。塗料やシンナーのメーカー安全データシートに従い防毒マスクを使用してください。



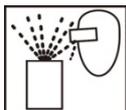
#### 有毒な塗料または蒸気

危険な塗料または有毒な蒸気が眼や皮膚に付着したり、誤って吸込んだり飲み込んだりすると、重傷や死亡につながります。使用する塗料の危険性に関して習得してください。



#### 火災と爆発の危険性

装置の不適切な接地、不十分な換気、火気、火花などは危険で、火災や爆発、重傷につながる可能性があります。



#### 発射物の危険性

高圧で放出される塗料やガスまたは飛んでくる破片によって負傷する場合があります。



#### 電気ショック / アース

不適切な接地やスパークは危険で、火災や爆発、電気ショックなどの深刻な重症につながります。



#### 指を挟む危険性

稼動部に指を挟むと、押しつぶされたり、切断される可能性があります。全ての稼動部には指を挟む危険性があります。



#### 騒音の危険性

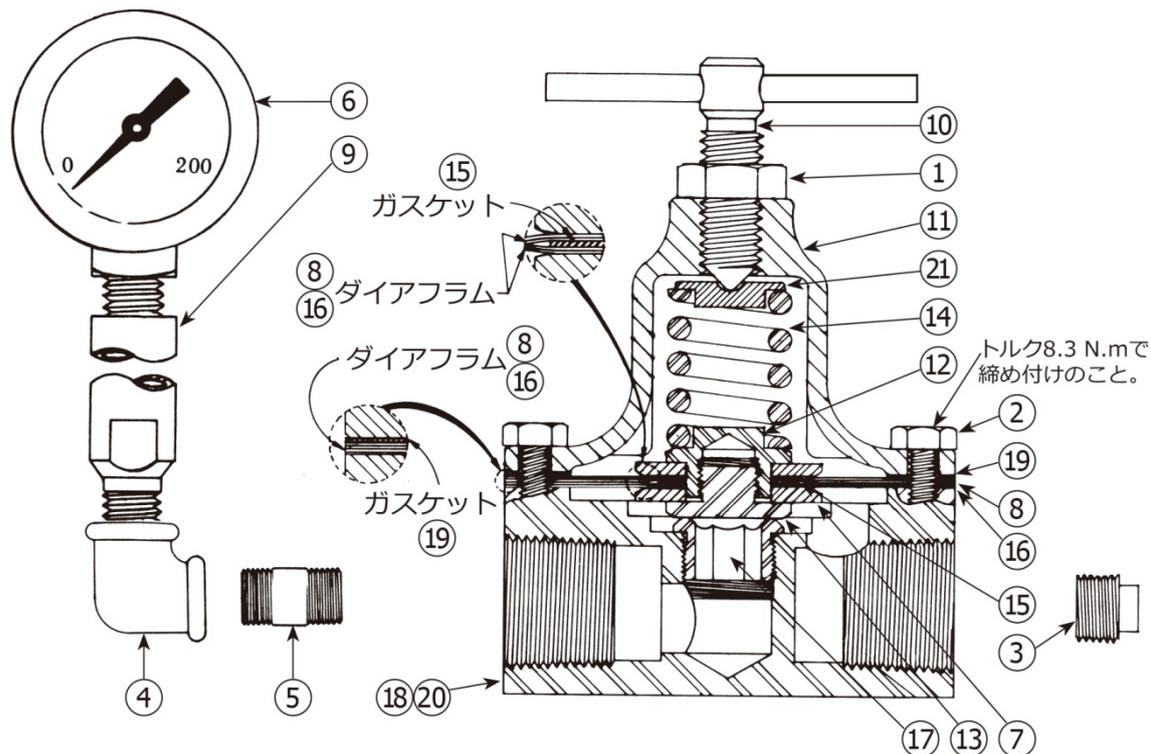
大音量が人的損傷を引き起こす場合があります。本装置を使用する場合は、聴覚保護具を使用してください。



#### PROP65 警告

この製品には、米国カルフォルニアの検証で、出産障害等を引き起こす可能性がある物質が含まれています。

## 背圧バルブ(84-404・504) 分解図/パーツリスト



Item No.	部品番号	名称	数量
1	20-262	ナット、1/2-13	1
2	20-783	六角ボルト、1/4-20	6
3	20-4401	プラグ、1/4 NPT	1
4	20-2848	エルボー、1/4 NPT	1
5	20-5632	ニップル、1/4 NPT	1
6	83-2744●	圧力計 200psi	1
7	84-328	デスク	2
8	84-330▲	ダイヤフラム、ナイロン	2
9	84-348●	コネクター	1
10	84-351	ハンドル	1
11	84-359	ボンネット	1
12	84-362	リテーナー	1
13	84-363■	バルブ (84-404, 84-504)	1
14	84-365	スプリング	1
15	84-388▲	ガスケット	1
16	84-399▲	ダイヤフラム、PTFE	2
17	84-454■	シート	1
18	84-455	ボディー (3/4 NPT(f)) (84-404)	1
19	84-463▲	ガスケット	1
20	84-489	ボディー (1-1/4 NPT(f)) (84-504)	1
21	85-10	ボタン	1

●印の部品は、製品に含まれません。別注文になります。

▲印の部品は、ソフトシールリペアキット(6-1310)に含まれています。

■印の部品は、バルブリペアキット(6-1312)に含まれています。

## 保守管理

### ■設置方法

1. 背圧弁を取り付ける際、バルブボディーの下にある“IN”側を戻り配管側にし、反対側をタンク側になるようにしてください。
2. 出入り口の継手はしっかり締めつけてください。
3. 背圧弁が垂直、水平どの位置に取り付けられても圧力計(6)は垂直に取り付けてください。NPT1/4 どちら側かに取り付け、片方にプラグを取り付けます。

### ■操作方法

1. ポンプ作動している状態で必要とする背圧になるまでハンドル(10)を時計方向に回すことで流速が得られます。背圧を下げるには反時計方向に回します。
2. ナット(1)を締めて背圧を固定します。

注 記
・高い背圧は流量を減少させます。 ・低い背圧は流量を増加させます。



3. もし、始動時に背圧弁が小刻みに唸る場合は内部にあるエアが原因です。唸りが続く場合は、背圧を下げて流量を増加させてエアを追い出してください。その後、希望の背圧に設定してください。

### ■保 守

1. 背圧弁を保守する場合は、弁本体をラインから外すことなく出来ます。
2. ダイアフラム、ガスケット又はシートを交換する場合：
  - a) ハンドル(10)を反時計方向に回し、スプリング(14)がフリーの状態にします。
  - b) 六角ボルト(2)を取り外します。
  - c) バルブ(13)を外します。
3. 再組付けする場合は、逆の手順で行ってください。ガスケット(15)はダイアフラム(8)と(16)の間に挟むようにしてください。  
詳細は分解図を参照してください。

**BINKS®** ビンクス PCE 事業部  
**CFT** ランスパーク 株式会社

本 社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-15-5  
TEL: 045-785-6378 FAX: 045-785-6517  
<http://www.carlisleft.co.jp/>

**CARLISLE**  
FLUID TECHNOLOGIES

©2016 Carlisle Fluid Technologies.  
®BINKS is registered trademark of Carlisle Fluid Technologies.

2018.02-77-1889-R13.2-J03